

—マクロ経済関連—

みずほ中国 ビジネス・エクスプレス

（経済編 第105号）

要旨

7～9月期実質GDP（国内総生産）成長率は前年比+4.9%と、4～6月期（+3.2%）から加速、1～9月累計でも+0.7%とプラス転化。生産、投資が先行して回復するも、消費は累計では引き続きマイナス。経済はこれ以上の拡張的な政策対応は不要となるまでの回復を見せてはいるものの、その程度は業種、所得階層等によりまだら模様。コロナ前から続く供給サイド構造改革による調整、米中摩擦等の下押し要因と当局による対応策が続いていることにも要注意。

1. 9月経済指標は8月に引き続き改善
 - ・ 7～9月期は+4.9%成長へと加速
 - ・ 生産、消費は加速。投資は累計でプラス転化
 - ・ 住宅販売価格は一線都市で小幅上昇加速
 - ・ 輸出入とも加速
 - ・ CPIは鈍化。PPIはマイナス幅が小幅拡大
 - ・ 新規貸出純増額は拡大、社会融資総量は縮小
2. 政策対応～まだら模様ながら景気回復傾向を確認、金融政策はよりのを絞った形に
 - ・ 中国経済の回復傾向はまだら模様
 - ・ 「穏健な金融政策は精確に誘導」（人民銀行通貨政策委）
 - ・ 「人民元高は経済好調の自然な反映。市場は内外金利差にも注目」（人民銀行）

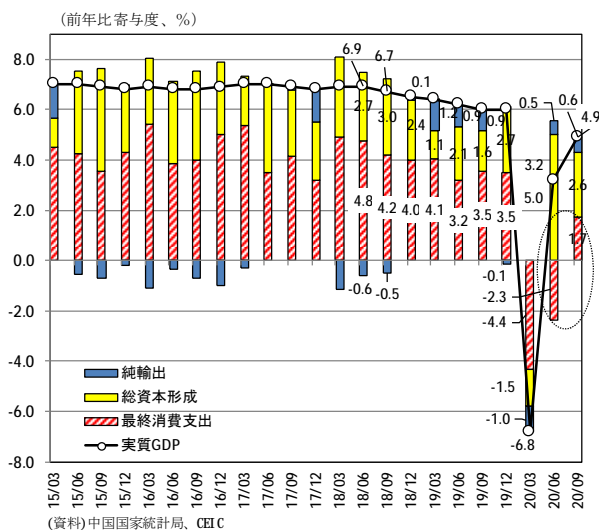
1. 9月経済指標は8月に引き続き改善

・7~9月期は+4.9%成長へと加速

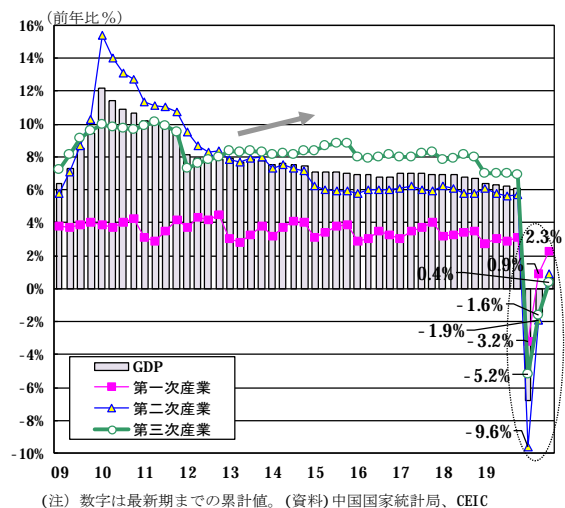
10月19日、国家統計局（統計局）は7~9月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前年同期比（特記しない限り以下同）+4.9%と発表、1~9月期累計では+0.7%であった¹。前期比は+2.7%である（図表1）。需要項目別寄与度をみると、7~9月期は総資本形成が+2.6%PTへと縮小した一方、最終消費支出は+1.7%PTとプラス寄与に転じた。純輸出は+0.6%PTのプラス寄与と小幅拡大、投資偏重だった4~6月期からバランスの取れた成長となった。

産業別に変動率をみると、1~9月期に第一次産業が+2.3%と1~6月期（+0.9%）から加速、第二次産業は+0.9%、第三次産業は+0.4%とそれぞれ1~6月期（▲1.9%、▲1.6%）からプラス転化した（図表2）。

図表1 GDP需要項目別内訳



図表2 産業別実質GDP



・生産、消費は加速。投資は累計でプラス転化

9月の経済指標は8月に比べ概ね改善した。9月の工業付加価値生産額は前年同月比+6.9%と、8月の+5.6%から加速、1~9月累計では+1.2%となった（9月前月比+1.2%）（図表3）。9月の生産の特徴として国家統計局は「①装置製造業の牽引（自動車+16.4%：うち新エネルギー車+51.1%、トラック+36.2%、クロスオーバーSUV+20%以上。金属製品、一般設備、電気機械+12%以上。電子、専用設備+8%の伸びを維持）。②ハイテク、新興製品の強い伸び（3Dプリンター、電動立ち乗り二輪車、サービスロボット、スマートウォッチ等の新興スマート製品+70%以上。都市軌道車両、充電スタンド等の新型インフラ製品+20%以上）。③原材料製造の安定的な伸び持続（鉄鋼、建材各+9.0%、化学原料+7.5%。鋼材、非鉄、アルミ、エチレン等は3か月連続加速。セメント、銑鉄、粗鋼+6.0%以上）、④消費品製造の顕著な好転（食品、農副産品加工、酒飲料は前月の伸びを+5%PT以上上回る）」等を挙げている²。

名目固定資産投資は1~9月に+0.8%と、1~8月の▲0.3%から、累計で20年入り後初めてプラスと

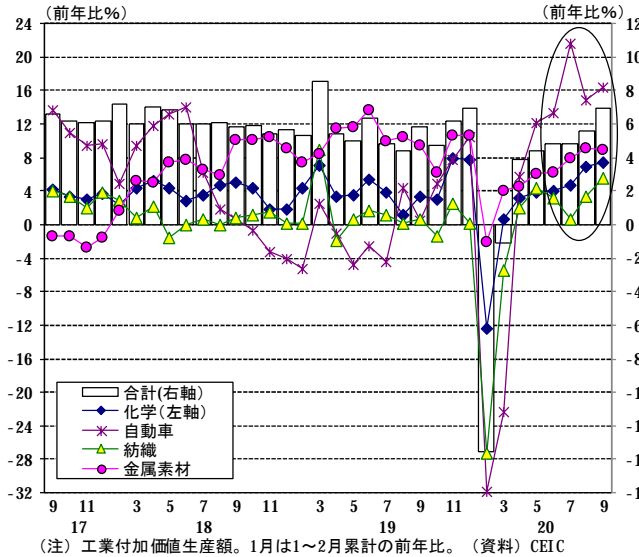
¹ 国家統計局 10月19日「前三季度经济增长由负转正（1-9月経済成長（率）がプラス転化）」

http://www.stats.gov.cn/tjsj/zxfb/202010/t20201019_1794596.html

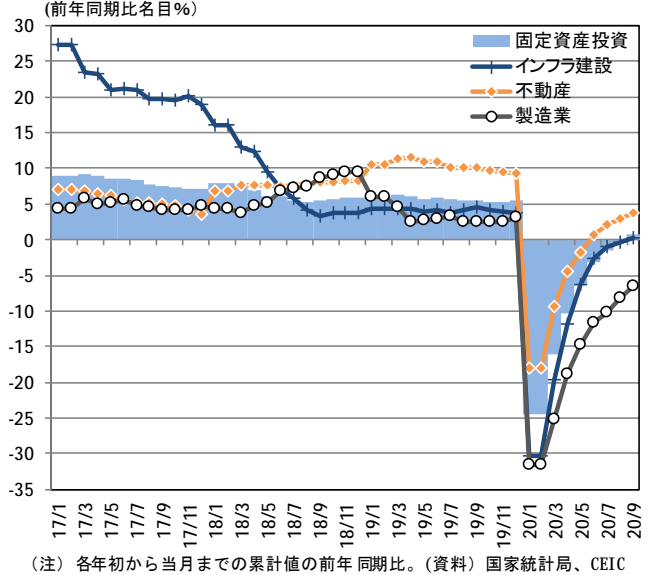
² 国家統計局 10月20日「庐山：工业生产稳定恢复 增长动力不断加强（廬山：工業生産は安定回復 成長動力は不断に強化）」廬氏は工業司長。http://www.stats.gov.cn/tjsj/sjjd/202010/t20201020_1794997.html

なったが、9月単月では+8.0%と8月(+8.5%)からは減速した(前月比+3.4%)。このうちインフラ建設投資は1~9月に+0.2%とプラス転化、製造業は同▲6.5%、不動産投資は+3.8%と、それぞれ1~8月の▲0.3%、▲8.1%、+3.0%から改善した(図表4)。

図表3 工業付加価値生産額



図表4 固定資産投資



個人消費は名目消費品小売額が9月に3.3%と、8月(+0.5%)から加速した(前月比+2.3%) (図表5)。このうち、ネット・ショッピングによる商品・サービス小売額は1~9月に8兆65億元と+9.7%、うち商品は6兆6,477億元(サービス1兆3,588億元)と同期間の消費品小売額合計(27兆3,324億元、▲7.2%)の24.3%を占め、伸び率は+15.3%であった³。「①オンラインの消費が高い伸びを続ける一方、オフラインの消費も疫病抑制に伴いリアル店舗での買い物が戻るなど回復傾向にあり、②サービス消費も、外食消費の減少幅が9月は▲2.9%へと数か月連続で縮小、正常な水準に緩やかに近づいているほか、③化粧品、金銀宝石類、自動車といった消費の高度化関連の販売は二けた以上の伸びとなった」(劉愛華統計局報道官)⁴。

自動車販売台数は9月の新車販売台数が256.5万台、+13.0%と、8月(218.6万台、+11.7%)から台数、伸び率とも拡大、18年6月(+4.7%)以来の前年比増加となった4月(207.0万台、+4.5%)から6か月連続の増加となった。1~9月累計では▲6.9%(1,709.32万台)である(図表6)⁵。この間の販売回復の背景には中央・地方政府による各種消費刺激策⁶の奏功がある。自動車販売は17年(2,894.1万台、+3.6%)まで拡大基調にあったが、同年末の小型乗用車向け減税措置⁷終了をはさみ政策要因に

³ 国家統計局 10月19日「2020年9月份社会消费品零售总额增长3.3% (2020年9月社会消费品小売総額は+3.3%)」
http://www.stats.gov.cn/tjsj/zxfb/202010/t20201019_1794601.html

⁴ 国家統計局 10月19日「国家统计局新闻发言人就2020年前三季度国民经济运行情况答记者问(国家统计局報道官が2020年1-9月期国民経済運行情況について記者の問いに答える)」http://www.stats.gov.cn/tjsj/sjjd/202010/t20201019_1794729.html

⁵ 師建華中国汽車工業協会副秘書長は10月21-22日西安で開かれた「2020中国自動車サプライチェーン大会」で、2020年通年の自動車販売量が昨年より良い(前年比増となる)可能性があるとの見方を示した。中国汽車工業協会 10月26日「師建华:今年全年汽车产销量很有可能好于去年(師建华:今年通年の自動車販売量は昨年より良い可能性)」
http://www.caam.org.cn/chn/1/cate_3/con_5232222.html

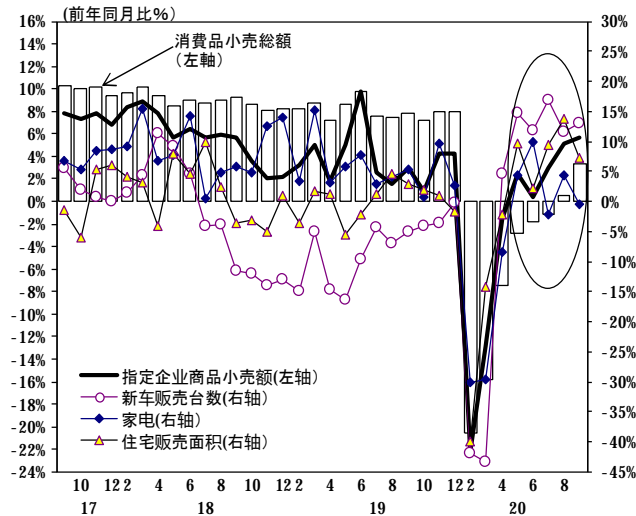
⁶ 自動車消費刺激策については拙稿「みずほ中国ビジネス・エクスプレス経済編No.99」図表4参照。

https://www.niuhobank.co.jp/corporate/world/info/cndb/economics/express_economy/pdf/R422-0099-XF-0105.pdf

⁷ 財政部「关于减征1.6升及以下排量乘用车车辆购置税的通知(排气量1,600cc以下の乗用車購入税引き下げに関する通達)」
http://szs.mof.gov.cn/zhengwuxinxi/zhengcefabu/201612/t20161215_2483048.html

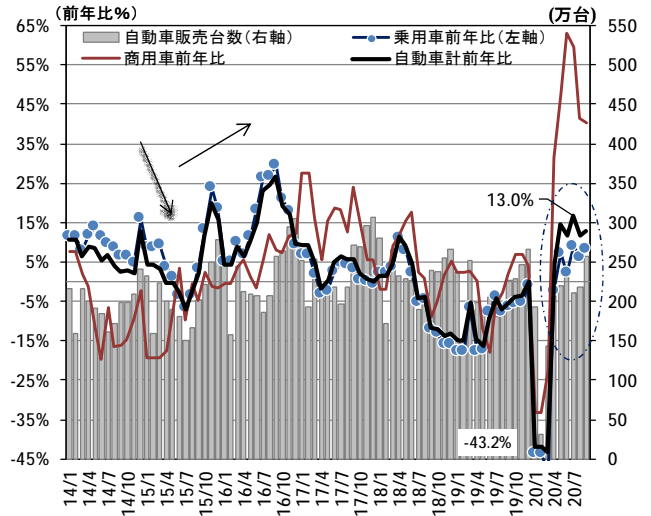
よる販売増とその後の落ち込みを経験している。

図表 5 消費品小売額、品目別小売売上、住宅販売面積



(注) 指定企業: 年商500万元以上。家電販売も同企業のもの。2月=1-2月累計。(資料) CEIC

図表 6 自動車販売台数 (乗用車・商用車別)



(注) 1、2月は1-2月累計の前年比。(資料) 中国汽车工业协会、CEIC

・住宅販売価格は一線都市で小幅上昇加速

住宅販売面積は1~9月に▲1.8% (11億7,073万㎡) と、17年+7.7%、18年+1.3%までのプラス成長に対し、19年▲0.1% (17億1,558万㎡) に続きマイナスとなったが、1~8月の▲3.3%から減少幅は縮小した。住宅販売は、16年3月の上海や深圳⁸を皮切りに採られた購入制限が価格上昇の顕著な他の都市においても拡大⁹、住宅購入制限は更に強化されてきた¹⁰。

9月の新築住宅価格を前年比で見ると、59都市で上昇、8月と同数であった。その変動率を地域別に見ると、一線都市で+3.94% (8月+3.92%) と、8月に続き5か月連続で小幅ながら上昇率が高まった一方、二線都市では+4.7% (同+5.0%)、三線都市でも同+4.4% (同+4.6%) と8月から小幅鈍化した (図表7)¹¹。

これを前月比で見ると、主要70都市のうち55都市で前月比上昇、上昇した都市の数は8月から4都市減少した。前月比で横ばいであった都市の数は9月に7都市と8月から5都市増加、前月比で下落し

財税〔2015〕104号 (15年9月29日付) は、15年10月1日から16年末まで、排気量1,600cc以下の乗用車を対象に、自動車取得税の税率を従来の10%から5%に引き下げると公表。国家税務総局 <http://www.chinatax.gov.cn/n810341/n810755/c1827947/content.html> 財政部と国家税務総局は16年12月15日、小排気量の新車購入を支援する減税措置の期限を17年末まで1年延長を発表。但し、税率は7.5%と現行の5%からは引き上げ。この間、自動車販売は17年 (2,894.1万台、+3.6%) までの拡大基調から同年末の減税策終了を受け18年 (2,803.98万台、▲3.1%) に1990年以来初の減少、19年も2,575.45万台、▲8.2%と減少幅が拡大。

⁸ 16年3月25日、上海市は2軒め住宅購入時の頭金比率をこれまでの40%から50~70%に引き上げ。深圳市は2軒め住宅購入時の頭金比率をこれまでの30%から40%に引き上げ。いずれも、非居住者の取得条件を厳格化。

⁹ 厦門、南京、合肥でも16年4月末から7月半ばまでにかけて住宅価格抑制策が打ち出される等、住宅購入制限策は価格上昇の顕著な都市に広がった。参考: 経済参考報16年7月14日「房地产現严重分化 因城施策将是下半年楼市政策主线 (不動産の分化深刻 地域毎の政策が下期不動産政策の主线に)」等。 http://www.china.com.cn/shehui/2016-07/14/content_38877726.htm

人民日報16年10月11日「限购、限貸、近期已有20城市推出新举措 楼市调控 因城施策 (購入制限、貸出制限 最近20都市で新規措置 住宅抑制 都市に合った施策)」によれば、同記事執筆時点で20都市において住宅購入制限を実施。

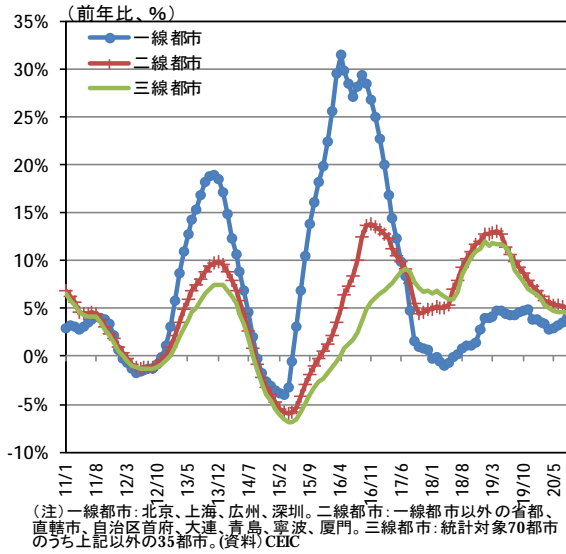
<http://www.fangchan.com/news/6/2016-10-11/6191397283909931925.html>

¹⁰ 21世紀経済報道17年3月20日「北京最严楼市调控“认房又认贷” 下半年全国楼市降温可期 (北京で最も厳しい不動産抑制「認房又認貸」 下期の全国不動産は冷え込みへ)」によると、北京市は3月17日、頭金の比率を6割以上に引き上げるほか、購入者が入居しない不動産の場合は頭金の比率を8割以上とする、期限25年以上の個人向け住宅ローン暫定停止、企業の購入した住宅の再取引には満3年以上必要とする等の「史上最も厳しい抑制策」を公表。 http://epaper.21jingji.com/html/2017-03/20/content_58356.htm

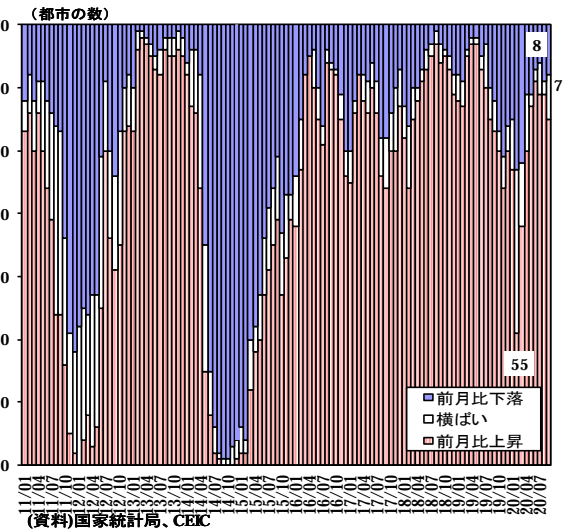
¹¹ 70都市のうち住宅価格上昇率の高かった上位三都市: 銀川+16.9%、唐山+15.4%、西寧+12.7% (9月)。

た都市は8都市と8月から1都市減少した(図表8)¹²。

図表7 新築住宅販売価格(前年比)



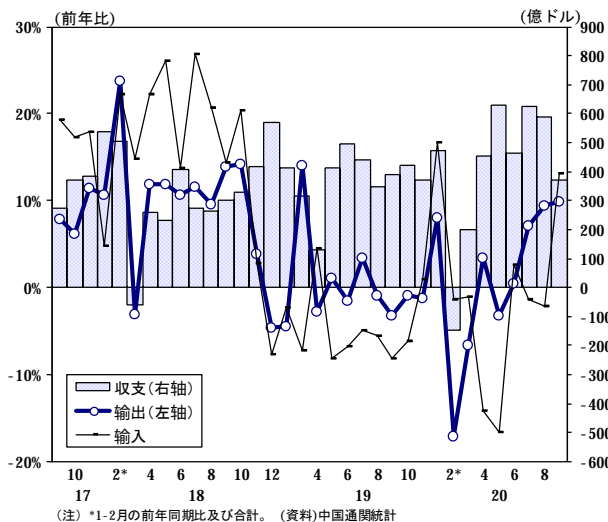
図表8 住宅販売価格前月比変動都市数



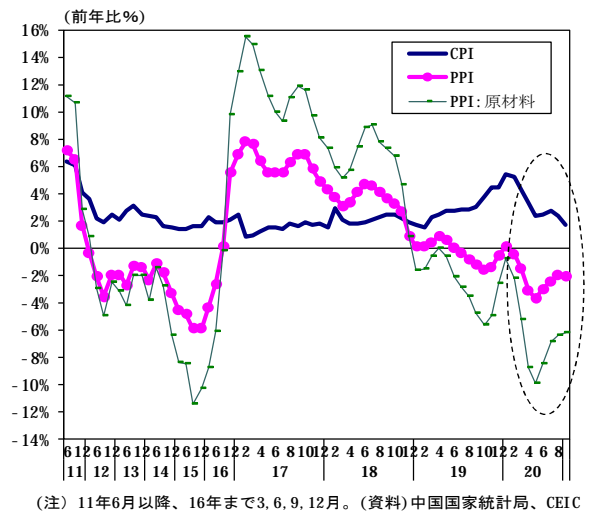
・輸出入とも加速

9月の輸出は+9.9%(2,397.6億ドル)、輸入は+13.2%(2,027.6億ドル)と、輸出入ともに加速した。貿易黒字は370.0億ドルであった(図表9)。1~9月貿易動向(輸出▲0.8%、18,114億ドル、輸入▲3.1%、14,853億ドル、黒字3,261億ドル)について商務部は「①民営企業による輸出が+10.0%、合計に占める比率は4.1%PT高まり55.2%に。②新興市場向け輸出が引き続き拡大。ASEANとの輸出入は+7.7%、第一の輸出相手地域に。③中西部からの輸出が+7.0%と合計の伸びを+5.2%PT上回る。④輸出品目構造が引き続き向上。機械電子輸出比率は+0.8%高まり58.7%に。うちIC+14.9%、コンピューター+10.7%、医療器械+48.2%」等の特徴を紹介した¹³。

図表9 輸出入、貿易収支



図表10 CPI、PPI



李魁文海関総署報道官は、1~9月期に貿易が伸びた原因について、輸出は「①防疫物資が牽引(1.04

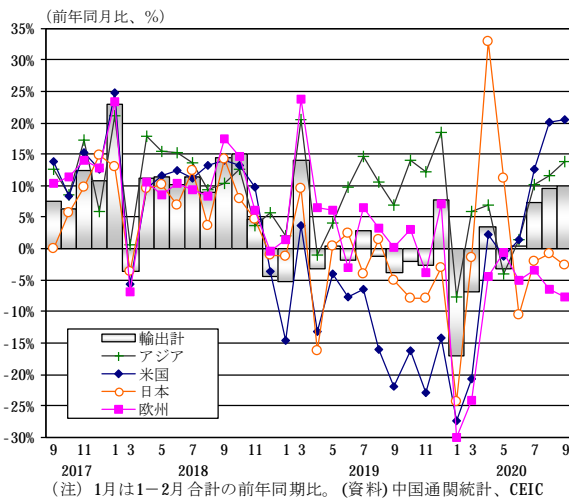
¹² 国家統計局9月14日「2020年9月份70个大中城市商品住宅销售价格变动情况(2020年9月70都市商品住宅販売価格変動情况)」
http://www.stats.gov.cn/tjsj/zxfb/202010/t20201020_1794938.html なお、18年1月から保障性住宅を含まないベース。

¹³ 商務部10月14日「商務部外貿司負責人談2020年1-9月我国外貿运行情况(商務部外貿司責任者が2020年1-9月我が国對外貿易运行情况を語る)」なお、金額、変動率は人民幣建て。<http://www.mofcom.gov.cn/article/ae/sjld/202010/20201003007675.shtml>

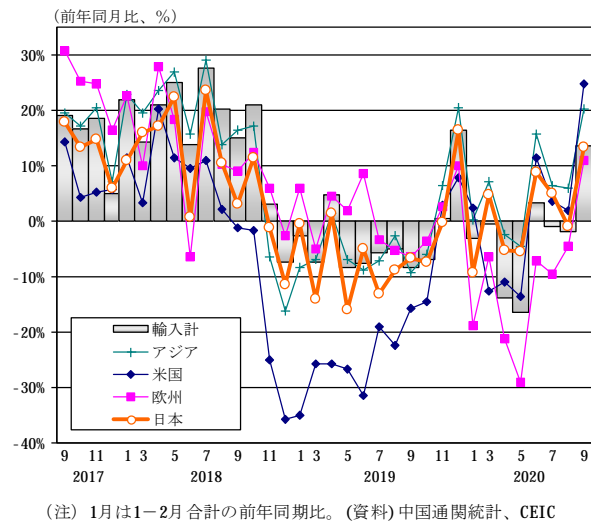
兆元、+36.5%。1~9月の輸出伸び率+1.8%に対する寄与度+2.2%PT)、②コロナ下のステイホームに伴うPCや家電需要(8,808億元、+17.8%。寄与度+1.1%PT)、③国内での操業再開による受注増や、グローバルな供給不足分を防疫に成功した中国が補完したことも、輸出受注増に繋がった」と説明した。輸入については「①操業再開に伴う機械電子製品輸入増(+3.9%。うち電子部品+14.9%、自動データ処理設備及び同部品+11.6%)、②商品市況の回復(原油+12.7%、鉄鉱石+10.8%、ボーキサイト+12.7%)」などがあるとした¹⁴。

地域別にみると、輸出は米国、アジア向けが伸びを高めた一方、欧州、日本向けでマイナス幅が縮小した。輸入は主要国地域向けでいずれも伸びを高めている(図表11、12)。

図表 11 主要地域別輸出



図表 12 主要地域別輸入



・CPIは鈍化。PPIはマイナス幅が小幅拡大

9月のCPI(消費者物価指数)上昇率は+1.7%と、8月(+2.4%)から鈍化、前月比でも+0.2%と8月の+0.4%から鈍化した。1~9月平均では+3.3%と、全国人民代表大会で定めた20年CPI政府予測目標の+3.5%¹⁵を下回っている(図表10)。CPIの内訳を見ると、食品価格は9月に+7.9%と8月(+8.8%)から鈍化した。このうち食品価格の変動要因となってきた豚肉価格¹⁶は「生産が引き続き回復」(統計局¹⁷)し9月に+25.5%と、8月の+52.6%から鈍化した。野菜価格は「季節要因と一部地区の降雨により(統計局)」9月に+17.2%と8月(+11.7%)から上昇、食品以外の価格は9月に+0.0%と8月(+0.1%)から小幅鈍化した(図表13、14)。

¹⁴ 中国政府網 10月13日「国务院新闻办就2020年前三季度进出口情况举行新闻发布会(国务院新闻办办公室が2020年1-3月期輸出入情況について記者発表会を举行) なお、金額、変動率は人民元建て。1-9月期平均対ドルレート換算で1.04兆元=1,487億ドル(マスクを含む紡織品、医療器械、薬品)、8,808億元=1,260億ドル(ノートPC、タブレット、家電)。
http://www.gov.cn/xinwen/2020-10/13/content_5550937.htm

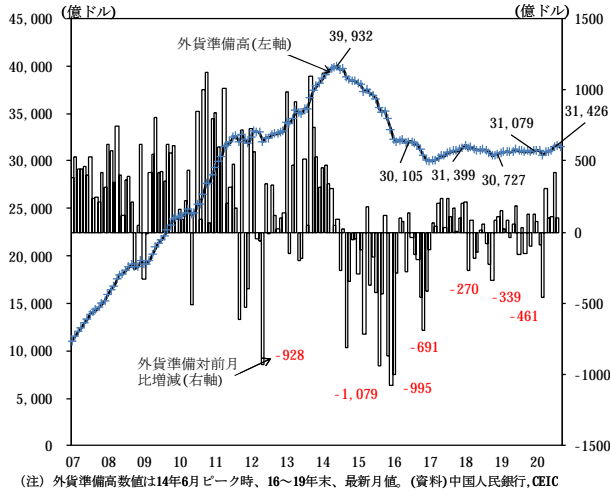
¹⁵ 20年CPI政府予測目標については拙稿「みずほ中国ビジネス・エクスプレス経済編No.100」図表18参照。
https://www.nizuhobank.co.jp/corporate/world/info/cndb/economics/express_economy/pdf/R422-0100-XF-0105.pdf

¹⁶ 豚周期(ピッグ・サイクル=豚肉価格が下がってくると畜産家が飼育を少なくする→供給が減少、価格上昇→畜産家が生産増→供給増、価格が安定→畜産家が飼育を少なくするといった循環を繰り返す)は16年5月をピークに下降、17年6月を底に反転したが、18年3月以降再度マイナス幅が拡大、同年5月以降に縮小、同12月以降は拡大傾向となる等、価格下落が続く中でその方向感は一瞬刻みに変化。豚肉生産量は15、16年と2年連続で減少後、17年に5,452万トン、+0.5%増。18年5,404万トン、▲0.9%、19年4,255万トン、▲21.3%と大幅減少。生産量が二けた減となったのは96年(▲13.4%)以来。

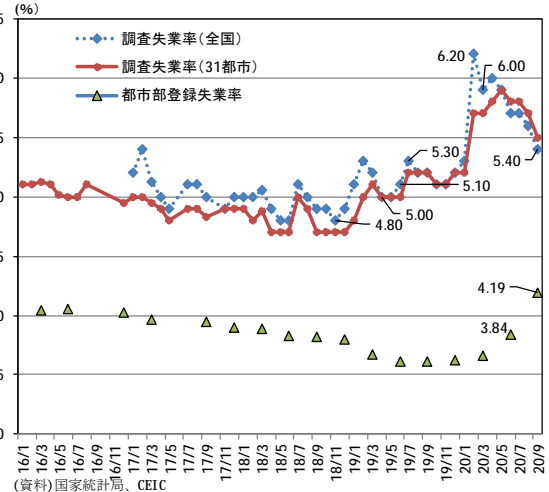
¹⁷ 国家統計局 10月15日「国家统计局城市司高级统计师董莉娟解读2020年9月份CPI和PPI数据(国家统计局都市司董莉娟高級統計師が2020年9月のCPIとPPIデータを解説)」http://www.stats.gov.cn/tjsj/sjjd/202010/t20201015_1794071.html

9月末の外貨準備高は3兆1,425.6億ドル、8月比で▲220.5億ドル減少、前年末比では+346.4億ドルの増加(+1.1%)となった(図表17)。王春英国家外貨管理局報道官は1~9月期の外貨収支データ状況について「モノの貿易規模は最高記録を更新。サービス貿易は疫病の影響から支出がまだ下がっており、サービス貿易赤字規模は縮小。これら二つの要因により経常収支は基本的な均衡を維持、外貨準備は3.1兆ドル以上で安定している」と分析した¹⁸。

図表 17 外貨準備高



図表 18 調査失業率



2. 政策対応～まだら模様ながら景気回復傾向を確認、金融政策はよりの絞った形に

・中国経済の回復傾向はまだら模様

コロナ禍の影響を受けて主要国経済が大幅マイナス成長となる中、中国経済が年初からの累計でも+0.7%とプラス成長となったことを受け、中国経済に対する強弱双方に偏った見方が散見される。一つは「中国経済の回復は本当なのか」という懐疑論、反対にもう一つは「中国経済はここまで回復したので、中国ビジネスも更なる好転が見込める」との強気論である。

足元の景気回復は生産、投資の拡大が先行しているが、消費は雇用所得環境の悪化(図表18)を背景に、年初からの累計では引き続きマイナスである。7~9月期中の消費品小売総額増加やGDP最終消費支出の寄与度プラス転化も、コロナ蔓延中に抑えられていた消費が同抑制後に集中した結果である側面もあり、消費自体の力強さを反映したものとは言い切れない。また、当初予想よりも好調な自動車販売で、高価格帯の自動車がより多く売れている現象¹⁹は、中国経済の回復が業種や、所得階層等によりまだら模様であることの一つの証左でもある。

加えて、コロナ前の16年から続く供給サイド構造改革による構造調整、18年春以降激化する米中摩擦等による下押し要因と、それに対応した当局による下支え策が続いていることも景気動向に影響を与えている。具体的には、鉄鋼・石炭を名指しして始まった過剰生産能力解消に伴って市場からの退場(破産や合併再編等を含む)が進行する一方、当局による政策対応により新型インフラやデジタル関連業種

¹⁸ 国家外貨管理局 10月23日「2020年前三季度外汇收支数据情况」新闻发布会文字实录(2020年1-9月外貨収支データ状況新聞公表会文字実録) <http://www.safe.gov.cn/safe/2020/1023/17396.html>

¹⁹ 師建華中国汽車工業協会副秘書長は「元々自動車購入意欲が多少あった庶民は収入が低下したため、車を買わなくなり、これが中低価格帯車種の販売に直接影響。逆に高所得者はそれほど大きな影響を受けず。車を買うと決めていた一部消費者もより良い車種を選んだ。このため、金持ちはハイエンド車を購入、普通の消費者もハイエンド・ブランドに切り替えた結果、高価格帯車市場の高い成長を招来、中低価格帯車の市場は落ち込んだ」と説明。脚注5に同じ。

では新たな需要が生まれているというように、プラスマイナスの影響が同時進行している。このため、分野によって不況感が強い業種も、政策対応の恩恵を受けて特需的なブームに沸く業界も同様に存在しており、景況感はまだら模様となっていることに注意が必要である。

・「穏健な金融政策は精確に誘導」(人民銀行通貨政策委)

経済成長のプラス転化を受け、財政金融政策はこれ以上の拡張的な政策対応は不要となってきた。人民銀行通貨政策委員会が9月25日に開いた第3四半期例会は「穏健な金融政策は、更に柔軟・適度にし、精確に誘導し、多様な金融政策手段を総合的に運用、かつ刷新して、流動性の合理的な充足を維持しなければならない」との表現で、第2四半期例会を開いた6月24日時点で「実体経済の回復と持続的な発展を更に突出した位置に」としていたのと比べて²⁰、金融政策対応の重点をよりの絞った形へと移行していく方針を確認した。

・「人民元高は経済好調の自然な反映。市場は内外金利差にも注目」(人民銀行)

孫国峰人民銀行貨幣政策司長は10月14日に開いた記者会見²¹で、人民元動向について「人民元高は我が国経済が良い方向に向かっていることの自然な反映。他国に先んじて疫病を抑制、経済社会は回復・発展。輸出は良好で、各国の中央銀行を含む海外の長期資金が秩序よく人民元資産に流入。(中略)市場は内外金利差にも注目。わが国は通常の貨幣政策を実行している一方、先進国経済は量的緩和政策によりゼロ金利やマイナス金利となっている結果、内外金利差は高い水準に維持されている」と発言、相対的に良好な中国経済と内外金利差が人民元高の背景にあると説明した。孫司長はまた為替先物取引の外貨リスク準備金率を調整²²したことも言及、人民元レートが高すぎる状況を望んでいない考えにもじませた。

以上

【みずほ銀行(中国)有限公司 中国アドバイザー一部主任研究員 細川美穂子】

【ご注意】

1. **法律上、会計上の助言**：本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。
2. **秘密保持**：本資料記載の情報の貴社への開示は貴社の守秘義務を前提とするものです。当該情報については貴社内部の利用に限定され、その内容の第三者への開示は禁止されています。
3. **著作権**：本資料記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ本資料の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。
4. **免責**：
 - (1) 本資料記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらずいっさい責任を負いません。また、本資料における分析は仮定に基づくものであり、その結果の確実性或いは完結性を表明するものではありません。
 - (2) 今後開示いただく情報、鑑定評価、格付機関の見解、制度・金融環境の変化等によっては、その過程やスキームを大幅に変更する必要がある可能性があり、その場合には本資料で分析した効果が得られない可能性がありますので、予めご了承下さい。また、本資料は貴社のリスクを網羅的に示唆するものではありません。
5. 本資料は金融資産の売買に関する助言、勧誘、推奨を行うものではありません。

²⁰ 原文(9月25日)：「稳健的货币政策要更加灵活适度、精准导向，综合运用并创新多种货币政策工具，保持流动性合理充裕」。

(6月24日)：「稳健的货币政策要更加灵活适度，把支持实体经济恢复与可持续发展放到更加突出的位置…(中略)综合运用并创新多种货币政策工具，保持流动性合理充裕」。

中国金融新聞網9月29日「中国人民银行货币政策委员会召开2020年第三季度例会(中国人民银行通貨政策委員会が2020年第3四半期例会を招集開催) https://www.financialnews.com.cn/jg/dt/202009/t20200929_202281.html

同上第2四半期例会会議後文書リンク http://www.gov.cn/xinwen/2020-07/01/content_5523084.htm

²¹ 中国金融新聞網10月14日「2020年第三季度金融统计数据新闻发布会文字实录(2020年第三四半期金融統計データ公表会文字実録)」
https://www.financialnews.com.cn/jg/dt/202010/t20201014_203019.html

²² 中国金融新聞網10月12日「央行决定将远期售汇业务的外汇风险准备金率下调为0(人民銀行が為替先物取引の外貨リスク準備金率をゼロに引き下げ)」https://www.financialnews.com.cn/jg/dt/202010/t20201012_202704.html 外貨リスク準備金制度は人民元安を抑制するため2015年9月導入、20%。2017年9月0%。2018年8月20%。2020年10月0%。金融機関は顧客の外貨買い先物取引の際に20%の準備金を預け入れる必要がなくなり、外貨買いがし易くなる＝人民元高圧力抑制効果をもたらす。